

サツマイモ基腐病対策のポイント⑥

<排水対策, 苗消毒, 発病株の抜き取り>



ほ場に基腐病菌を「持ち込まない」「増やさない」対策の徹底
—令和7年産に向け、油断することなく取り組みましょう！—

【育苗】 育苗床を定期的に見回り、異常株の早期発見・抜き取り・持ち出しを！

- 葉が変色したり、基部が黒変している株は、株ごと抜き取りましょう。
なお、種いもを用いた育苗の場合は、種いもごと掘り上げ、抜き取った株は、ほ場外へ持ち出しましょう。
- 抜き取り後は、速やかに銅剤を散布しましょう。



【植付】 植付前には、必ず苗消毒を！

採苗



当日



苗消毒



苗の取置き



※ 苗全体を薬液に30分漬ける 実際の苗消毒の様子

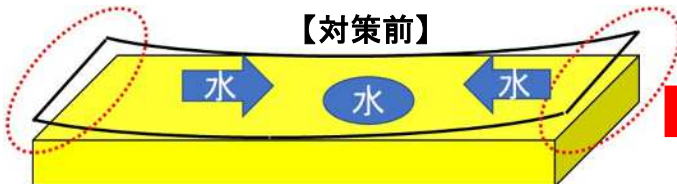
- 採苗は地際から5cm以上高い位置で行いましょう。
- 採苗で使用するハサミは、こまめに消毒(水洗いと拭き取り)しましょう。
- 苗全体を薬液に浸けるようにし、薬液は使用日ごとに毎回調製しましょう。

農薬の名称	対象病虫害	希釈倍率	使用時期
ベンレート水和剤	基腐病, つる割病, 黒斑病	500~1000倍	植付前
ベンレートT水和剤20	基腐病, つる割病, 黒斑病	200倍	植付前

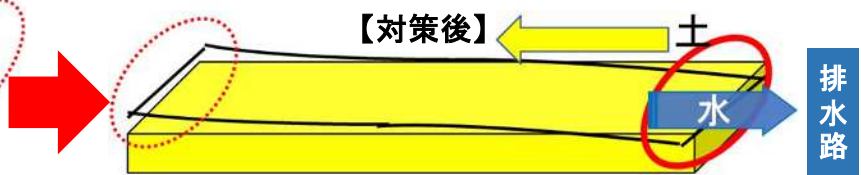
【ほ場】 ほ場に水が溜まらないよう、排水対策を！

- 基腐病菌は水を介してまん延するため、水が溜まりやすいほ場で感染が拡がりやすくなります。
- 耕うん、畝立て作業でトラクターが旋回する枕地に土が寄り、ほ場の内側が凹んで水が溜まりやすくなっています。⇒ 2~3年に一度は枕地の土をほ場の内側へ戻す作業を行いましょう。
- ほ場の枕地から内側に向かってロータリーで逆転耕をすることで土戻しをしましょう。

【対策前】



【対策後】



※ 近年、一部のほ場でさつまいもの収穫時に、基腐病以外の腐敗の発生が見られます。腐敗の要因は、いもが害虫(コガネムシ等)の被害を受けた傷や、排水不良等により腐敗した部分から細菌等が感染したことによります。畝立て時にコガネムシ等の害虫防除にもしっかり取り組みましょう！

ご不明な点がありましたら、お近くのサツマイモ基腐病対策プロジェクトチーム(事務局:地域振興局・熊毛支庁農政普及課)にご連絡ください。
※本資料は生研支援センター「イノベーション創出強化研究進事業(01020C)」,「戦略的スマート農業技術等の開発・改良(SA2-102N)」の成果を活用しました。